

令和7年度(2025年度)

後期 シラバス

熊本県立農業大学校

令和 7 年度 (2025 年度) 講義時間割 後期 (1 0 月 ~ 3 月)

1 年生 (48 期生)

		月曜日				火曜日				水曜日
		コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	
1 年 (48 期生)	1 限	農業機械学 ☆	全	交流館	堀	アグリビジネス講座	全	交流館	徳永 森田	経営
	2 限	稲作概論	農花 果野	CR 2		英語コミュニケーションⅡ	①'	CR 4	大西	経営
		花き生産各論Ⅰ	花果 野	CR 1		英語コミュニケーションⅡ	①'	視聴覚	木村	
		果樹生産論	花果 野	CR 3	A	中国語Ⅱ	①'	CR 3	路	
		野菜栽培各論Ⅱ (露地)	農花 果野	CR 5		英語Ⅱ	①'	CR 1	甲斐	
		家畜生理解剖論	酪肉	CR 4						
	3 限	経営実習				経営実習				経営
	4 限	経営実習				経営実習				経営

2 年生 (47 期生)

		月曜日				火曜日				水曜日
		コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	
2 年（47 期生）	1 限	卒業論文 ★	全	P C 室 他	担任	アグリビジネス講座	全	研修交 流館	徳永 森田	経営
	2 限	卒業論文 ★	全	P C 室 他	担任	農業簿記Ⅱ	花き 野菜	C R 2	亀井	経営
						農業簿記Ⅱ	農果 畜産	C R 5	小涼	
	3 限	経営実習				卒業論文 ★	全	P C 室 他	担任	経営
	4 限	経営実習				経営実習				経営

注 1 : ☆は、必修科目。
注 2 : 「コース」欄は、「農」 : 農特産、「花」 : 花き、「果」 : 果樹、「野」 : 野菜 A 及び B、「酪」 : 酪農、「肉」 : 肉用牛で各コースの該当科目を表記。
注 3 : 「コース」欄の空欄は、全コースが該当科目。

				木曜日				金曜日				
コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	
実習				植物生理学☆	農花果野	C R 6	堤	花き生産各論Ⅱ	農花果野	④	C R 1	
								常緑・落葉果樹栽培論Ⅱ	果	④	C R 3	
				家畜繁殖論 (精子生理・種付理論)★	酪肉	C R 4	野菜栽培各論Ⅲ（その他の野菜）	農花果野	④	C R 5		
							家畜育種学	畜	④	C R 4		
実習				土壌肥科学 ☆	農花果野	C R 5	土田	農業気象学		④	C R 5	九沖農研
								くらしと法律		④	C R 3	外部
				家畜繁殖(繁殖生理) 論☆	酪肉	C R 4	くらしと経済		④	C R 4	田中	
							国語Ⅱ		④	C R 1	長澤	
実習				経営実習				経営実習				
実習				経営実習				経営実習				
				木曜日				金曜日				
コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	
実習				卒業論文 ☆	全	P C室 他	担任	卒業論文 ☆	全	P C室 他	担任	
実習				農産物マーケティング論	農花果野	C R 6	永石	遺伝育種学	農花果野	C R 6		
				畜産経営論	酪肉	C R 2		畜産政策・環境論	酪肉	C R 2		
実習				経営実習				経営実習				
実習				経営実習				経営実習				

令和7年度（2025年度）後期 開講科目

学科名	コース名	科目区分	履修区分	授業科目名	履修学年	単位数	ページ
共通（全学科）		教養		英語コミュニケーションⅡ	1	1	4
		教養		中国語Ⅱ	1	1	6
		教養		英語Ⅱ	1	1	7
		教養		農業気象学	1	1	8
		教養		くらしと法律	1	1	9
		教養		くらしと経済	1	1	10
		教養		国語Ⅱ	1	1	11
		専門	必修	農業機械学	1	1	12
		専門		アグリビジネス講座	1, 2	1	13
		専攻		農業簿記Ⅱ	2	1	15
		専攻	必修	農家派遣研修・校外派遣研修	1	5	—
		専攻	必修	卒業論文	2	6	—
共通（農産園芸、野菜）		専門	必修	植物生理学	1	1	16
		専門	必修	土壌肥科学	1	1	17
		専攻		稲作概論	1	1	18
		専攻		野菜栽培各論Ⅱ（露地）	1	1	19
		専門		農産物マーケティング論	2	1	20
		専攻		遺伝育種学	2	1	21
共通（農産園芸《農特産、花き》、野菜）		専攻		花き生産各論Ⅱ	1	1	22
		専攻		野菜栽培各論Ⅲ（その他の野菜）			23
共通（農産園芸《花き、果樹》、野菜）		専攻		花き生産各論Ⅰ	1	1	24
		専攻		果樹生産論	1	1	25
農産園芸	農特産	専攻	必修	経営実習（農特産）	1	15	—
		専攻	必修	コースゼミ（農特産）	1	2	—
		専攻	必修	経営実習（農特産）	2	27	—
		専攻	必修	コースゼミ（農特産）	2	1	—
	花き	専攻	必修	経営実習（花き）	1	15	—
		専攻	必修	コースゼミ（花き）	1	2	—
		専攻	必修	経営実習（花き）	2	27	—
		専攻	必修	コースゼミ（花き）	2	1	—
	果樹	専攻	必修	経営実習（果樹）	1	15	—
		専攻	必修	コースゼミ（果樹）	1	2	—
		専攻		常緑・落葉果樹栽培論Ⅱ	1	1	26
		専攻	必修	経営実習（果樹）	2	27	—
		専攻	必修	コースゼミ（果樹）	2	1	—
野菜	共通	専攻	必修	経営実習（野菜）	1	15	—
		専攻	必修	コースゼミ（野菜）	1	2	—
		専攻	必修	経営実習（野菜）	2	27	—
		専攻	必修	コースゼミ（野菜）	2	1	—
畜産	共通 (酪農、肉用牛)	専攻	必修	経営実習（畜産）	1	15	—
		専攻	必修	コースゼミ（畜産）	1	2	—
		専攻		家畜生理解剖論	1	1	27
		専攻	必修	家畜繁殖論（精子生理・種付理論）	1	1	28
		専攻	必修	家畜繁殖論（繁殖生理）	1	1	29
		専攻		家畜育種学	1	1	30
		専攻	必修	経営実習（畜産）	2	27	—
		専攻	必修	コースゼミ（畜産）	2	1	—
		専攻		畜産政策・環境論	2	1	31
		専攻		畜産経営論	2	1	32

◎ 通年で実施する科目（農家派遣研修・校外派遣研修、卒業論文、経営実習、コースゼミ）は、前期シラバス集に掲載済みのため、今回は掲載していません。

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅱ		教 官 名	大 西 聖 華	
	履修学年	1 年	単 位 数	1 単 位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義 【前半】テキスト(応用部分)に沿って、個人、ペアワーク(PW)で実施 【後半】テーマに沿って、グループワーク(GW)で実施 → 発表					
科目目標 (指導・到達目標)	外国人と交流する際に必要な「コミュニケーション能力」、「基本的な日常英会話力」を身につける。					
テーマ及び概要	「自己探求」を通して「自己実現」へつなげる。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	①ネイティブが使っている 43のテクニックで英語が楽しくなる！(高橋書店)					
②参考文献						
講義 スケジュール ※講義日数に応じて、(1)～(12)の進行調整を行います。	大 項 目			小 項 目		
	(1) テキスト:Day1: テーマ:後期に向けて			あやつる③		
	(2) テキスト:Day2: テーマ:What event is coming soon?			広げる①		
	(3) テキスト:Day3: テーマ:Let's watch amovie!			広げる②		
	(4) テキスト:Day4: テーマ:"Hero" How can they help?			映画鑑賞		
	(5) テキスト:Day5: テーマ:Can you hear what they say?			広げる③		
	(6) テキスト:Day6: テーマ:Chiristmas①			助けてもらう①		
	(7) テキスト:Day7: テーマ:Chiristmas②			助けてもらう②		
	(8) テキスト: Day8: テーマ:What was the highlight of 2025 for you?			助けてもらう③		
	(9) テキスト:Day9: テーマ:What's yourgoal for 2026?			ダイアログエクササイズ①		
	(10) テキスト:Day10: テーマ:What should you say in such a situatin? ①			ダイアログエクササイズ②		
	(11) テキスト:Day11: テーマ:What should you say in such a situatin? ②			ダイアログエクササイズ③		
	(12) テキスト:Day12: テーマ:What should you say in such a situatin? ③			ダイアログで実践		
	(13) テキスト総括 ・ 定期試験					
	(14) 試験用紙返却 ・ 講義総括					
成 績 評 価	評価:講義出席状況、試験成績、授業態度 注意:受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び指示が無い場合のスマートフォンの使用は減点とする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	英語コミュニケーションⅡ		教 官 名	木村 美紀	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義	【前半】テキスト(応用部分)に沿って、個人、ペアワーク(PW)で実施 【後半】テーマに沿って、グループワーク(GW)で実施 → 発表				
科目目標 (指導・到達目標)	外国人と交流する際に必要な「コミュニケーション能力」、「基本的な日常英会話力」を身につける。					
テーマ及び概要	「自己探求」を通して「自己肯定感アップ」、「自己実現」へつなげる。					
使 用 教 材	①英会話は筋トレ。中2レベルの100例文だけ！1か月で英語がスラスラしゃべれる。 (かんき出版) ②参考文献					
講義 スケジュール ※講義日数に応じて、(1)～(12)の進行調整を行います。	大 項 目			小 項 目		
	(1) オリエンテーション			・テキスト復習		
	夏休みの過ごし方、冬休みの計画			・夏休みの反省と冬休みの計画、発表		
	(2) テキスト: Step1 基礎トレーニング			テーマ: 友達のこと		
	I'm+名詞、形容詞、一般動詞 他(～例文11)			・クラスメイトの良いところを見つける、発表		
	(3) テキスト: Step1 基礎トレーニング			テーマ: 好きなこと、やりたいこと、必要なこと		
	現在進行形、助動詞 他(～例文21)			・優先順位の通りできているか確認		
	(4) テキスト: Step1 基礎トレーニング			テーマ: 過去と未来		
	過去形、未来形 他(～例文32)			・未来を予測する方法		
	(5) テキスト: Step1 基礎トレーニング			テーマ: 見方・考え方で変わる世界		
	You're+名詞、形容詞、一般動詞 他(～例文49)			・景色はどう変わったか？発表		
	(6) テキスト: Step1 基礎トレーニング			テーマ: 笑いの大切さ		
	It's+名詞、形容詞、一般動詞 他(～例文62)			・発表		
(7) テキスト: Step1 基礎トレーニング			テーマ: 笑いの大切さ			
疑問文 (～例文90)			・発表			
(8) テキスト: Step1 基礎トレーニング			テーマ: 間の大切さ			
命令文、前置詞、接続詞(～例文100)			・発表			
(9)テキスト: Step1 基礎トレーニング			ロールプレイング			
まとめ			・発表			
(10) テキスト: Step2 実用化トレーニング			ロールプレイング			
トピック1, 2, 3			・発表			
(11)試験対策 又は リスニング						
(12)試験 ・ 講義総括						
成 績 評 価	評価: 講義出席状況、試験成績、授業態度 注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び指示が無い場合のスマートフォンの使用は減点とする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	中国語Ⅱ		教官名	路 菁	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	中国語の発音の仕方ができる 日常的に使われている挨拶表現ができる					
テーマ及び概要	農業の国際化対応の一環として日本文化の源流をなす中国について、中国語の学習を通じて 理解を深める。 特に会話の学習にあたっては、正しい発音をマスターさせる。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	① 中国語10課（白水社）					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 旅行会話			(1)税関や機内などの言葉 (2)ホテル内・ショッピングに関する会話		
	2 中国の歴史、文化、社会人の理解			(1)歴史人物、出来事など関心のあること (2)異文化への理解、現代社会状況の情報、 映画鑑賞		
成績評価	評価：講義出席状況、試験成績、授業態度 注意：受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。 特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	英語Ⅱ		教官名	甲斐 知昭	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	英語による活発な双方向コミュニケーションの実現。 ならびに4年制大学への編入試験を視野に入れえた英文法の再構築。					
テーマ及び概要	馴染み深い内容を通して英文音読力を徹底的に強化することで、スピーキング力、リスニング力の強化、多様な練習問題によるライティング力の強化を図る。					
使用教材						
①テキスト・教材	①Speaking of People<Intro> (南雲堂)					
②参考文献	※テキストの後半部分を使用します。					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1. 英文音読力の強化			(1)スピーキング力の向上 (2)音読速度の向上によるリスニング力の向上 (3)英語表現を体得させることによるコミュニケーション力の向上 ※取り上げる課題英文のシャドウイングもしくはオーバーラッピングに毎回挑戦し、それを評価の対象とします		
	2. 語彙力強化 文法再構築			(1)多様なアクティビティ、ロールプレイを通して語彙力の向上 (2)実用英語として使用頻度の高い英文法		
	3. 2年次への準備			(1)大学編入試験における英語の状況		
成績評価	評価:定期試験(60%)、講義出席状況(10%)、音読テスト、提出物、その他(30%) 注意:受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科目名	農 業 気 象 学		教官名	柴田昇平、後藤慎吉 (農研機構九州沖縄農業研究センター)	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	気候の成立や気象現象の成因、農業気象災害、ハウス内の微気象などを学び、それを農業経営に生かせるようにする。					
テーマ及び概要	・気候の成立や変化とその要因、気象現象とその成因、日本の四季の天気の特徴、農業気象災害とその対策、ハウス内の微気象の特徴と対策などについて学び、農業経営の一助とする。 ・気候変動、特に地球温暖化と農業のかかわりについても理解する。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①配布するプリントをもとに授業を進める。					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 気候変動			(1)気候変動の原因 (2)気候変動シナリオ		
	2 天気、気象			(1)台風 (2)天気の成因(大気大循環) (3)四季の特徴的な気象		
	3 農業気象災害			(1)天気予報の利用 (2)農業気象災害と対策		
	4 気候と農業			(1)気候、天候、天気 (2)気候帯と農業生産(温量指数と好適作物) (3)日本の気候と農業生産(稲作、果樹、野菜、施設栽培と日射条件)		
	5 異常気象と農業			(1)異常気象とその発生要因 (2)地球温暖化と農業		
	6 農地の微気象			(1)耕地、施設の微気象 (2)ハウスの環境制御		
	成 績 評 価	評価:定期試験、講義への出席状況及び受講態度 注意:レポートやプリントの未提出及び講義中の居眠り、私語、スマートフォンの使用(注意に従わない場合欠席扱い)は減点とする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	くらしと法律		教 官 名	熊本県弁護士会所属弁護士	
	履修学年	1 年	単 位 数	1 単 位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	複数名の弁護士先生による講義					
科目目標 (指導・到達目標)	法律の背景にある基本的な価値や、司法制度の機能、意義を理解し、法的なものの考え方を身につける。					
テーマ及び概要	法律のしくみや法律的な考え方の基本を学ぶ。また、今後将来に向けて、くらしや仕事の様々な場面で、必要とされる法律の基礎知識を身につける。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①② 指定無し					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 イン트로ダクション(どんな法律があるか)			イントロダクション		
	2 法の機能や紛争解決について			なぜ法があるか？など		
	3 契約関係(売買、詐欺、消費者保護など)			売買、詐欺、消費者保護など		
	4 物権、取得時効など			物権、取得時効など		
	5 家族の法律(結婚、離婚、親子・・・)			婚姻、離婚、親子関係		
	6 男女共同参画や男女の問題について			男女共同参画		
	7 刑事事件(もしも逮捕をされたなら・・・)			刑事事件		
	8 消費貸借、担保、保証、債務整理など			消費貸借、担保、保証、債務整理など		
	9 相続の基礎知識 ～亡くなった場合の財産の帰趨～			相続、遺言、遺産分割等		
	10 雇う側・雇われる側が知っておくべき労働法			労働者の権利、賃金、休暇等		
	11 ネットトラブル			SNSトラブル、ネット通販トラブル等		
成 績 評 価	評価: 定期試験・レポート・出席・授業態度					
	注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。 スマートフォンは講義の中で法律検索の際に使用するが、ゲームやSNSなど講義に関係の使用は減点とし、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	くらしと経済		教 官 名	田中 一則	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義とレポート提出					
科目目標 (指導・到達目標)	日本経済の動きと日常生活との結びつきを知る。					
テーマ及び概要	行動経済学の視点をふまえながら、生活に密着した経済の疑問や問題点など、いま知っておきたい経済の基本を学ぶ。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①「眠れなくなるほど面白い 図解プレミアム 経済の話」(日本文芸社)					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 序章			お金の役割と経済のしくみの基本		
	2 生活			日常生活に密着する経済のカラクリ		
	3 景気			日本経済と景気のカラクリ		
	4 政策			経済のしくみと政策のカラクリ		
	5 用語			キーワードから探る世の中のカラクリ		
成 績 評 価	評価: 定期試験・レポート・出席・授業態度 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	国語Ⅱ		教官名	長澤 久美子	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習					
科目目標 (指導・到達目標)	毎回、主に農業・農村・環境等に関するテーマを定めて小論文作成演習を行い、教官による添削や学生同士で評価し合うことにより、より論理的な文章が書けるようになる。後半では4年制大学の編入試験過去問題等、より実践的な演習を行い、編入試験合格レベルを目指す。					
テーマ及び概要	テーマ「農業系のテーマに基づいた小論文作成演習」 概要 農業・農村・環境等に関するテーマによる小論文演習を行う。 過去の編入試験・就職試験問題のテーマを用いた実践的な演習を行う。					
使用教材	① 配布プリント					
①テキスト・教材						
②参考文献						
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 テキストをテーマとした小論文作成演習			(1)演習 (2)添削 (3)学生同士による評価		
	2 過去問題を中心とした小論文作成演習			(1)演習 (2)添削 (3)学生同士による評価		
成績評価	評価：演習における課題提出及び内容による評価・期末試験成績 注意：レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いにする。					

令和7年度(2025年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	農業機械学		教官名	堀 孝弘	
	履修学年	1学年 全学科	単位数	1単位	講義回数予定 (うち各1回は定期試験含む)	後期12回
授業形態	講義形式				実務経験のある 教員による授業	
科目目標 (指導・到達目標)	農業機械の取扱いの基礎知識習得、農作業安全への意識啓発、農業機械への興味喚起					
テーマ及び概要	農業機械は、現代の農業経営において必要な存在であるが、効率的な活用や管理などの知識に加えて安全に取扱うための理解も不可欠である。 そこで、本講義では農業経営の実践に必要な農作業安全の理解と各農業機械の基礎知識を習得する。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	耕うん機と刈払機の構造と安全な使い方(一般社団法人日本農業機械化協会) トラクターの構造と安全な使い方【改訂版】(一般社団法人日本農業機械化協会) 各種農業機械(トラクタ、カットエンジン等)、燃料、工具・部品等					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 農業機械とは			農業機械の役割と効率的利用		
	2 農作業安全と事故防止策について			(1)農作業事故の現状と傾向 (2)事故の発生要因と安全対策		
	3 トラクタの構造と機能、操作について			(1)トラクタの基本構造と機能 (2)トラクタの基本操作と安全作業 (3)トラクタの整備とタイヤ、バッテリー等の取扱い (4)工具、機械部品の取り扱い		
	4 原動機の構造と特徴について			(1)燃料、潤滑油の種類と特性 (2)4サイクルガソリンエンジン (3)2サイクルガソリンエンジン (4)ディーゼルエンジン (5)電動機		
	5 作業機の構造と利用について			各種作業機の種類と役割(耕うん)		
	6 農業の機械化計画について			農業機械化体系の作成方法		
	7 その他			農業機械に関する動画放映・定期試験前の小テスト		
成績評価	評価:筆記試験、小テスト、受講態度及び出席状況の総合評価 注意:講義への欠席・遅刻・早退・は評価の減点となる。また、指示に従わないスマートフォン等通信機器の使用他、不適切と判断される受講態度・行動等も減点の対象となる。					

令和7年度(2025年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	アグリビジネス講座		教 官 名	徳永淳一、森田茂樹	
	履修学年	1 年	単 位 数	1 単 位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	外部講師による講義形式			実務経験内容	オムニバス形式で農業経営者や農業 関連企業から講師を招いて指導を行 う	
科目目標 (指導・到達目標)	先進的・先導的な農業経営を展開し、地域農業をけん引している経営者や、それを支える施策を担う関係者等を招聘し、学生に農業分野で活躍する人材として必要な資質を習得してもらい、将来ビジョンを醸成させる。					
テーマ及び概要	将来ビジョンの醸成を加速化させるため、農業経営者として求められる能力や理念のほか実践に基づく経営感覚や経営手法を学ぶとともに、関連施策等を学習する。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講師による資料又はパワーポイント資料					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 経営ビジョンの策定			(1)経営ビジョンとは (2)経営者としての目標設定		
	2 農業経営者に求められるもの			(1)経営理念と経営目標 (2)地域リーダーとして必要な資質		
	3 実践者に学ぶ新たな農業展開			(1)スマート農業の取組み (2)6次産業化(農産物加工、販売等) (3)GAPの取組み (4)企業との連携による農業展開 (5)人材育成、女性農業者の活躍 (6)SNS等を活用した流通・販売戦略 (7)農産物の輸出 (8)制度資金の活用 (9)みどりの食料システム戦略関連の取組み (10)その他		
	評価:講義出席状況、授業態度、毎回のレポート及び試験レポート等					
成 績 評 価	注意:レポート等の未提出は欠席とする。また、講義への遅刻・早退、講義中の居眠り、携帯電話(スマートフォン)の使用、私語は減点とする。特に、講義の中抜け、講義中の居眠り、スマホの使用については、甚だしい場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	アグリビジネス講座		教 官 名	徳永淳一、森田茂樹	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	外部講師による講義形式			実務経験内容	オムニバス形式で農業経営者や農業 関連企業から講師を招いて指導を行 う	
科目目標 (指導・到達目標)	先進的・先導的な農業経営を展開し、地域農業をけん引している経営者や、それを支 える施策を担う関係者等を招聘し、学生に農業分野で活躍する人材として必要な資質を 習得してもらい、将来ビジョンを醸成させる。					
テーマ及び概要	将来ビジョンの醸成を加速化させるため、農業経営者として求められる能力や理念の ほか実践に基づく経営感覚や経営手法を学ぶとともに、関連施策等を学習する。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講師による資料又はパワーポイント資料					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 経営ビジョンの策定			(1)経営ビジョンとは (2)経営者としての目標設定		
	2 農業経営者に求められるもの			(1)経営理念と経営目標 (2)地域リーダーとして必要な資質		
	3 実践者に学ぶ新たな農業展開			(1)スマート農業の取組み (2)6次産業化(農産物加工、販売等) (3)GAPの取組み (4)企業との連携による農業展開 (5)人材育成、女性農業者の活躍 (6)SNS等を活用した流通・販売戦略 (7)農産物の輸出 (8)制度資金の活用 (9)みどりの食料システム戦略関連の取組み (10)その他		
成 績 評 価	評価:講義出席状況、授業態度、毎回のレポート及び試験レポート等 注意:レポート等の未提出は欠席とする。また、講義への遅刻・早退、講義中の居眠り、 携帯電話(スマートフォン)の使用、私語は減点とする。特に、講義の中抜け、講義中の 居眠り、スマホの使用については、甚だしい場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	農 業 簿 記 Ⅱ		教 官 名	亀井 勝則、小椋 勝治	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	当校学生は、卒業後、農業(事業)所得者または、給与所得者になることから、税のしくみ・役割について正しく理解できるようにする。					
テーマ及び概要	農業経営に関する税のしくみを理解し、農業青色申告の決算書の作成から、所得税及び消費税の確定申告書の作成を演習を通じて理解させる。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	① プリントを配付					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 記帳について			(1)帳簿の種類とつけ方 (2)仕訳と転記 (3)経費の処理		
	2 実務編			(1)税の分類 (2)国税、地方税の税目・内訳 (3)所得税の仕組み (4)事業所得の意義 (5)事業所得の金額の計算方法 (6)総収入金額 (7)収穫基準 (8)免税取得 (9)必要経費 (10)個人企業に関する会計処理		
	3 青色決算の仕組みと作成方法			(1)決算とは (2)決算の手続 (3)決算の具体的方法 (4)収入金額の整理 (5)必要経費の整理 (6)必要経費の決算整理の具体例		
	4 消費税			(1)消費税の意義 (2)消費税の課税対象 (3)消費税の納税者 (4)免税取引 (5)不課税取引 (6)非課税取引 (7)課税売上高 (8)税率 (9)消費税の計算 (10)課税仕入 (11)課税仕入に係る消費税額の計算 (12)簡易課税制度 (13)確定申告が必要な者 (14)事業者免税点制度 (15)記帳等の保存 (16)納税義務の免除を受けない(受ける)ことになった場合における消費税額の調整		
	5 消費税の具体的計算方法			(1)消費税の申告書の作成までの手順 (2)消費税の課税取引金額の計算と申告書の作成 (3)課税標準額の計算 (4)課税対象仕入税額の計算		
成 績 評 価	評価:講義出席状況、授業態度、試験成績 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	植物生理学		教 官 名	堤 泰之	
	履修学年	1 年	単位数	1 単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12 回
授 業 形 態	講義形式			実務経験内容	研究員、普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	作物のからだはどのようなつくりをし、それがどのような働きをし、それが生活現象とどのような関連を持っているかを理解させる。 作物の生理生態の理解を通して、作物栽培に及ぼす各種要因の解説を行い、環境管理に必要な知識を習得させる。					
テーマ及び概要	作物の一生と基本的な営み 年間をを通した栽培環境と生育に影響を及ぼす環境要素					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	「作物の生理」(林茂一、東京農業大学)及び教官作成プリント					
②参考文献	「作物の生育と環境」(西尾道德他、農文協)					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 講義科目概要説明 2 作物のつくりと営み 3 作物の成長 4 作物栽培への応用 5 総 括			(第1回) ガイダンス、植物の分類 (第2回) 植物体の構造 (第3回) 光合成と呼吸 (第4回) 作物と水・無機養分 (第5回) 発芽・成長～環境要因の影響 (第6回) 植物成長調整物質 (第7回) 開花と結実・結果～環境要因の影響 (第8回) 栽培における環境(気象等)の影響 (第9回) 栽培における環境(土壌等)の影響 (第10回) 栽培における環境(病害)の影響 (第11回) 栽培における環境(害虫・雑草)の影響 (第12回) まとめ、定期試験 ※適宜、小テスト等を実施		
成 績 評 価	評 価: 試験成績、講義時の小テスト及び受講態度等を総合的に評価する。 注 意: 講義時間中の私語は厳しく減点する。併せて、講義への遅刻・無断退出等も減点の対象とする。また、学内の規定により、全講義回数に対し出席回数が3分の2に満たない学生は成績評価の対象としない。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科目名	土壌肥料学		教官名	土田 通彦	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	作物栽培のもととなる土壌と肥料の基礎を学ぶことで、土壌の特性に合った適切な土壌肥培管理についての基本を習得し、将来の農業経営に役立てる。					
テーマ及び概要	土壌について …… 土壌のはたらき、土壌の種類と特徴、土壌の物理性・化学性・生物性 肥料について …… 作物が吸収する養分、肥料の種類と特徴、施肥法 土壌の管理 …… 土壌診断、水田・畑・施設の土壌と管理 その他 …… 主要作物の施肥管理、堆肥の種類、コスト低減・省力化					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	① 新版土づくりと作物生産―収量・品質向上のための土づくりの基礎―(一般財団法人 日本土壌協会) ① トコトンやさしい土壌の本(日刊工業新聞社) ② 講師作成資料					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1) 土壌のはたらき、土壌の種類と特徴			作物生育に必要な条件、良い土とは、土壌の生成、日本の主要土		
	2) 土壌の組成			土壌の三相、粘土、腐植		
	3) 土壌の化学性			pH、土壌の養分保持能、塩類濃度		
	4) 土壌の物理性			団粒構造、土の硬さ、通気性、保水性		
	5) 土壌の生物性			土壌生物の種類と働き、土壌病害		
	6) 土壌有機物			有機物の分解と腐植化、腐植の役割		
	7) 作物が吸収する養分			植物体の構成成分、多量要素、微量元素		
	8) 肥料の種類と特徴、施肥法			化学肥料、有機質肥料、堆肥、施肥法		
	9) 土壌診断			土壌診断基準、土の調査と試料採取		
	10) 水田・畑・施設の土壌と管理			各土壌の特徴と管理上の注意点、土壌改良		
	11) 堆肥づくりと有機物利用			有機物資材の種類と特性、堆肥の種類		
	12) 主要作物の施肥管理			水稻、葉菜類、果菜類、養分吸収パターン		
成 績 評 価	評価:定期試験(80点)+出席状況・講義態度・小テストなど(20点)により総合的に評価する(100点満点)。 注意:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語、および携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	稲作概論		教官名	月田 裕人	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	稲作に関する幅広い知識を深めるとともに播種から収穫までの基本技術や近年の米を巡る情勢について知識を得る。					
テーマ及び概要	稲作の歴史及び稲の基本的な管理技術について理解する。					
使用教材	①作物学の基礎Ⅰ(農山漁村文化協会) ①テキスト・教 ②イネの基本技術と生育診断(DVD、農山漁村文化協会) ②参考文献					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 稲について			(1)稲作の日本への伝来と広がり (2)稲・水田の特徴 (3)世界の稲作 (4)稲の育種		
	2 稲の栽培について			(1)稲の一生 (2)生理、生態 (3)作期と品種の選び方 (4)育苗管理のポイント (5)水田土壌の特徴 (6)田植え～収穫作業の管理のポイント (7)病虫害防除 (8)雑草防除 (9)収穫・調整		
	3 最新技術			(1)省力、低コスト技術 (2)食味について (3)新形質米品種について		
成績評価	評価:定期考査(70%)、出席状況や講義態度(30%)により総合的に評価する(100点満点)。 注意:レポート等の未提出、講義への欠席・遅刻・早退、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	野菜栽培各論Ⅱ		教 官 名	吉田 達雄	
	履修学年	1 年	単位数	1 単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義形式、セルフワーク			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	露地野菜の栽培に必要な知識を習得させ、その特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力を育てる。					
テーマ及び概要	熊本県下で栽培されている主な露地野菜について、①来歴、②形態及び生理・生態的特性、③品種・作型、④栽培管理方法などについて学習する。 各論Ⅱでは、熊本県内で主に生産されている露地野菜について、理解を深める。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	野菜栽培の基礎 熊本の野菜					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 キャベツの品目的特徴			(1) 来歴	(2) 形態及び生理・生態的特徴	
				(3) 品種・作型	(4) 栽培管理方法	
	2 ブロッコリーの品目的特徴			(1) 来歴	(2) 形態及び生理・生態的特徴	
				(3) 品種・作型	(4) 栽培管理方法	
	3 レタスの品目的特徴			(1) 来歴	(3) 形態及び生理・生態的特徴	
				(3) 品種・作型	(5) 栽培管理方法	
	4 タマネギの品目的特徴			(1) 来歴	(2) 形態及び生理・生態的特徴	
				(3) 品種・作型	(4) 栽培管理方法	
	5 ニンジンの品目的特徴			(1) 来歴	(3) 形態及び生理・生態的特徴	
				(3) 品種・作型	(5) 栽培管理方法	
	6 ダイコンの品目的特徴			(1) 来歴	(4) 形態及び生理・生態的特徴	
				(3) 品種・作型	(6) 栽培管理方法	
	7 カンショの品目的特徴			(1) 来歴	(2) 形態及び生理・生態的特徴	
				(3) 品種・作型	(4) 栽培管理方法	
8 バレイショの品目的特徴			(1) 来歴	(3) 形態及び生理・生態的特徴		
			(3) 品種・作型	(5) 栽培管理方法		
9 ネギの品目的特徴			(1) 来歴	(4) 形態及び生理・生態的特徴		
			(3) 品種・作型	(6) 栽培管理方法		
10 豆類の品目的特徴			(1) 来歴	(2) 形態及び生理・生態的特徴		
			(3) 品種・作型	(4) 栽培管理方法		
11 ハクサイの品目的特徴			(1) 来歴	(3) 形態及び生理・生態的特徴		
			(3) 品種・作型	(5) 栽培管理方法		
成 績 評 価	評価割合: 講義出席状況(3分の2以上の出席のないものは成績評価の対象にしない)、講義への取り組み状況(10%)、ノート提出内容(10%)、定期試験(80%) 注意事項: ノートの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	農産物マーケティング論		教 官 名	永石 圭司郎	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数 (うち1回は定期試験を含む)	11回
授 業 形 態	講義形式・グループワーク・発表 レジメ、ビデオ等参考					
科目目標 (指導・到達目標)	マーケティングとは何か、こちらを深く考え自分なりに答えを探し、疑似体験ではあるが 実際商品(加工品)を作ってみる。実際自分で作った商品(加工品)をどのように売 のかまた、売りたいか考え物流にのせ消費者へ届くまでのプロセスを体験し今後の活動 に活かせるようになる。					
テーマ及び概要	自分が育てている農産物などを使った物づくりを体験するだけでなく多くの生産者が抱 えている問題・・・自分で作った商品(加工品)を「どのように売のか?」「どこに売 のか?」俗にいう”営業”を理解し、体験し今までにない売上の獲得ができるように講義を 進めていく。					
使 用 教 材	②心に響くコミュニケーション ペップトーク					
①テキスト・教材	②夢を力に(本田 宗一郎 著、日経ビジネス人文庫)					
②参考文献	②俺がつくる!(岡野 雅行 著 中経出版)					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 マーケティングとは			(1)マーケティングとは何 (2)実例をもとにマーケティングを考える (3)マーケティング活動をやってみる		
	2 物づくりのプロセス			(1)ブランディングの構築(SWAT分析) (2)新商品開発プロセス (3)既存商品のブラッシュアップ (4)ターゲット設定 (5)デザイン決定のプロセス		
	3 販売価格・商品規格の決定			(1)原価計算の実行 (2)商品の規格決定(グループワーク) (3)商品の価格決定(グループワーク) (4)商品の形態決定(グループワーク)		
	4 商品物流(物の流れ)について			(1)直接取引による商品物流 (2)問屋(ベンダー)を通しての商品物流 (3)一次問屋、2次問屋		
	5 商品作りの疑似体験			(1)1人、1商品作成(疑似体験) (2)規格の決定(グループワーク) (3)価格の決定(グループワーク) (4)売先の決定(グループワーク)		
	6 販売・営業について			(1)販売方法の種類 (2)販売の機会 (3)宣伝広告の方法		
	7 商談(疑似商談)実践			(1)商談前の準備、備品の作成 (2)バイヤーが良く聞く質問あれこれ (3)プレゼンテーション(グループワーク) (4)プレゼンテーション後のフォロー		
	8 顧客管理			(1)顧客管理の方法 (2)顧客へのアプローチ		
	成 績 評 価	評価:農大の評価規定による(定期考査(70%)+小テストの成績及びレポートや提出プリント (20%)+出席状況や講義態度(10%)などにより総合的に評価(100点)とする。				
注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席・講義中の居眠り、私語及 び携帯電話使用は 減点とする。特に携帯電話の使用については、注意に従わない 場合は欠席扱いとする。						

令和7年度(2025年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	遺伝育種学		教官名	作本 信次	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式			実務経験内容	普及指導員等	
科目目標 (指導・到達目標)	作物の品種特性を発現・維持する遺伝の仕組みを理解させ、品種改良が果たす役割の重要性、品種改良の方法、実際の農業生産場面で知っておくべき種苗法、育成者権等についての理解を深めさせる。					
テーマ及び概要	品種の特性とその連続性に関わる遺伝の基本的な仕組みを学習するとともに、農業生産の中で、遺伝学を基に築かれた品種改良の理論と方法について学習する。					
使用教材						
①テキスト・教材	教官作成のパワーポイント、講義時に毎回小テスト					
②参考文献	教科書無し					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 遺伝育種学の目的			(1)品種の重要性、品種改良の基礎知識と成果 (2)育種目標、注目すべき品種改良		
	2 植物の繁殖方法と遺伝の基本			(1)種子繁殖と栄養繁殖、メンデルの法則		
	3 育種方法の実際			(1)品種改良と遺伝子型(ホモとヘテロ) (2)自殖性、他殖性、栄養繁殖作物の育種方法 (3)突然変異を利用した品種改良		
	4 染色体と倍数体			(1)染色体の組み合わせ、ゲノム (2)倍数体と品種利用、種間雑種と属間雑種		
	5 主要作物の品種改良			(1)水稻、野菜、果樹、花き、いぐさ (2)熊本県が開発した登録品種と主な特徴		
	6 品種登録と種苗法			(1)知的財産権、育成者権 (2)品種登録制度と種苗法		
	7 DNAと遺伝子工学			(1)遺伝情報と発現のしくみ (2)遺伝子工学、組織培養技術		
	8 遺伝子組み換え作物、進化論			(1)遺伝子組み換え作物の基本と現状 (2)変異と自然淘汰		
	成績評価	評価:試験成績(70%)、出席状況と講義態度(30%)で総合的に評価。試験成績は、毎回の小テストと定期試験(レポート)の平均で算出。 注意事項:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	花き生産各論Ⅱ		教官名	三橋 寛樹	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義			実務経験内容	普及指導員(花き)	
科目目標 (指導・到達目標)	花き生産の経営に必要な知識と技術を習得させ、花きごとの特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。					
テーマ及び概要	花き生産の実際における技術・知識の基礎を習得し、将来の農業経営に役立てる。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	花卉園芸学の基礎、草花栽培の基礎、切り花の日持ち技術					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 スマート農業について			(1)国内、県内農家の取り組み事例 (2)農大での取り組み状況		
	2 栽培			(1)養液土耕栽培、栄養診断 (2)キク栽培の変遷 (3)宿根カスミソウ栽培の変遷 (4)トルコギキョウ栽培の変遷 (5)花き栽培における光の利用 (6)省エネルギー栽培技術 (7)病虫害対策(IPM) (8)花き栽培における環境制御		
	3 利用			(1)品質保持技術 (2)ガーデニング・緑化 (3)園芸療法・福祉		
成績評価	評価:定期考査(60%)、出席状況・受講態度(20%)、レポート提出状況(20%)などにより総合的に評価する。(100点満点) 【注意事項】 レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	野菜栽培各論Ⅲ		教官名	鍋田 宗貴	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式、セルフワーク			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	各論Ⅰ、Ⅱで学習した以外の野菜の栽培に必要な知識を習得させ、その特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力を育てる。					
テーマ及び概要	熊本県下で栽培されている野菜について、①来歴、②形態及び生理・生態的特性、③品種・作型、④栽培管理方法などについて学習する。 各論Ⅲでは、熊本県内で主に生産されている各論Ⅰ、Ⅱで学習した以外の野菜について、理解を深める。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	熊本の野菜、野菜栽培の基礎					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 ピーマンの品目的特徴			(1) 来歴 (3) 品種・作型	(2) 形態及び生理・生態的特徴 (4) 栽培管理方法	
	2 キュウリの品目的特徴			(1) 来歴 (3) 品種・作型	(2) 形態及び生理・生態的特徴 (4) 栽培管理方法	
	3 アスパラガスの品目的特徴			(1) 来歴 (3) 品種・作型	(2) 形態及び生理・生態的特徴 (4) 栽培管理方法	
	4 スイートコーンの品目的特徴			(1) 来歴 (3) 品種・作型	(2) 形態及び生理・生態的特徴 (4) 栽培管理方法	
	5 ショウガの品目的特徴			(1) 来歴 (3) 品種・作型	(2) 形態及び生理・生態的特徴 (4) 栽培管理方法	
	6 サトイモの品目的特徴			(1) 来歴 (3) 品種・作型	(2) 形態及び生理・生態的特徴 (4) 栽培管理方法	
	7 ゴボウの品目的特徴			(1) 来歴 (3) 品種・作型	(2) 形態及び生理・生態的特徴 (4) 栽培管理方法	
	8 ホウレンソウの品目的特徴			(1) 来歴 (3) 品種・作型	(2) 形態及び生理・生態的特徴 (4) 栽培管理方法	
成績評価	評価割合: 講義出席状況(3分の2以上の出席のないものは成績評価の対象にしない)、講義への取り組み状況(10%)、ノート提出内容(10%)、定期試験(80%) 注意事項: ノートの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	花き生産各論Ⅰ		教 官 名	三橋 寛樹	
	履修学年	1 年	単 位 数	1 単 位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義			実務経験内容	普及指導員(花き)	
科目目標 (指導・到達目標)	花きの生理・生態的な特徴と栽培環境に関する知識及び開花調節など生産技術の仕組みを総合的・体系的に理解を深める。					
テーマ及び概要	花きの発育制御について、基礎知識を学び開花調節についての知識を深める。					
使 用 教 材	花卉園芸学の基礎、草花栽培の基礎、花き園芸総論(大川清著、養賢堂) 切り花の日持ち技術					
①テキスト・教材						
②参考文献						
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 花きの生活環			(1)生活環と発育相 休眠・ロゼットとその打破 幼若性と花熟 開花生理		
	2 開花調節法			(1)温周性を利用した生育・開花調節 (2)光周性を利用した生育・開花調節 (3)整枝と生育・開花 (4)植物生長調節物質による生育・開花調節		
	3 主要花きの開花調節			(1)カラー (2)宿根カスミソウ (3)トルコギキョウ (4)カーネーション (5)シクラメン (6)ラナンキュラス		
成 績 評 価	評価: 講義出席状況、レポート提出状況、筆記試験 定期考査(60%)＋レポート・プリント等の提出(20%)＋出席状況・受講態度(20%) などにより総合的に評価する。(100点満点) 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語 及び携帯電話等の使用は減点とする。特に、携帯電話等の使用については、指示に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度 熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	果樹生産論		教官名	清水那子	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義・実習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	熊本県内の果樹の現状を把握させ、問題点と課題、生産対策についての知識を習得させる。					
テーマ及び概要	熊本県における果樹の生産現状と課題を学び、その対策と実践事例について知識・技術を習得させる。					
使用教材						
①テキスト・教材	熊本県果樹対策指針(熊本県果樹生産振興対策本部)、フルーツ&フルーツ(熊本県果実連)、					
②参考文献	熊本県果樹振興実績書					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 熊本県における主要果樹生産の現状					
	2 熊本県における果樹生産の基本的な考え方					
	3 カンキツの生産対策					
	4 落葉果樹の生産対策					
	5 災害防止対策					
	6 熊本県の果樹奨励品種について					
成績評価	定期考査(75%)+小テストの成績およびレポート・プリント等の提出(10%)+出席状況や受講態度(15%)などにより総合的に評価する(100点満点)。 なお、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合欠席扱いとする。					

令和7年度 熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	常緑・落葉果樹栽培論Ⅰ・Ⅱ (7～3月)		教官名	清水那子	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定 (うち2回は定期試験を含む)	Ⅰ:12回 Ⅱ:12回
授業形態	講義・実習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	本県で栽培されている主要な常緑果樹及び落葉果樹について、生理生態と生産技術を理解させる。					
テーマ及び概要	常緑果樹及び落葉果樹の栽培管理に必要な専門知識と栽培技術を習得させる。					
使用教材	①テキスト・教材 ・農学基礎セミナー 新版果樹栽培の基礎(農文協) ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第一巻(改定第二版) ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第二巻(改定第二版) ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第三巻(改定第二版) ②参考文献 フルーツ＆フルーツ(熊本県果実連)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 常緑果樹の栽培管理			(1)カンキツの種類・品種 (2)生育と栽培管理 (3)病虫害・生理障害 (4)出荷・販売と貯蔵・加工 (5)経営の特性と改善 (6)施設栽培・高品質果実栽培		
成績評価	2 落葉果樹の栽培管理			(1)主要品種の栽培特性 (2)生育と栽培管理 (3)病虫害・生理障害 (4)出荷・販売と貯蔵・加工 (5)経営の特性と改善 (6)施設栽培・高品質果実栽培 ※(2)～(6)は主要品種ごとに講義する		
	定期考査(75%)+小テストの成績およびレポート・プリント等の提出(10%)+出席状況や受講態度(15%)などにより総合的に評価する(100点満点)。 なお、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	家畜生理解剖論		教官名	森 将臣	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式・プロジェクター(パソコン)			実務経験内容	獣医師	
科目目標 (指導・到達目標)	家畜の骨格、消化器、生殖器等の構造及び生理作用について理解させ、家畜の飼養管理に必要な基礎知識を身につける。					
テーマ及び概要	基礎的な解剖学的特徴および生理機能を理解し、家畜人工授精師の免許取得に必要な知識を習得させる。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編) 牛の解剖アトラス、カラーアトラス獣医解剖学					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 運動器系			(1)骨、骨格筋等の解剖生理		
	2 消化器系			(1)胃、肝臓等の解剖生理		
	3 泌尿器系			(1)腎臓、膀胱等の解剖生理		
	4 呼吸器系			(1)肺、気管等の解剖生理		
	5 循環器系及び血液、造血器等			(1)心臓、血管等の解剖生理 (2)血液、骨髄等の解剖生理		
	6 生殖器系			(1)生殖器の分類と発生 (2)生殖器の形態及び機能 雌の生殖器 (3)生殖器の形態及び機能 雄の生殖器		
	7 泌乳器系			(1)乳房等の解剖生理		
	8 神経系			(1)脳、末梢神経等の解剖生理		
	9 感覚器系			(1)皮膚、眼球、耳等の解剖生理		
	10 内分泌系			(1)下垂体、副腎等の解剖生理		
	11 免疫系			(1)胸腺、リンパ節等の解剖生理		
	成績評価	評価:定期考査(80%)、講義の出席状況や講義態度(20%)などにより総合的に評価する。 注意事項:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	家畜繁殖論 (精子生理・種付理論)		教官名	山下 智	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	家畜の繁殖機能として雄畜の精子造成に関する知識や、実際の人工授精時における発情発見・交配適期等を理解させ、人工授精技術習得のための専門的知識を身につける。					
テーマ及び概要	家畜の繁殖機能として雄畜の精子造成、形態及び精子性状等や発情発見・交配適期等を理解させ、人工授精技術習得のための専門的知識及び技術を学ぶ。					
使用教材	①家畜人工授精講習会テキスト ①テキスト・教材 ②家畜繁殖生理学 新家畜繁殖学講座Ⅱ(人工授精編) ②参考文献					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 性成熟と繁殖供用			(1)生殖周期、性成熟		
	2 精子の形成と性成熟			(1)精子形成 (2)精子の移送と成熟 (3)精子の形成と成熟の調整機能		
	3 精子の形態と機能			(1)精子の形態と構造 (2)精子の機能		
	4 牛の交尾・射精と精液			(1)交尾・射精 (2)精液		
	5 牛の妊娠と分娩			(1)受精・発生 (2)胎子・胎膜の発生と着床 (3)妊娠の経過と妊娠診断 (4)分娩 (5)繁殖障害		
成績評価	評価:定期考査、講義の出席状況や講義態度などにより総合的に評価する。 注意 講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)等の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	家畜繁殖論(繁殖生理)		教官名	森 将臣		
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回	
授業形態	講義形式・プロジェクター(パソコン)			実務経験内容	獣医師・家畜防疫員		
科目目標 (指導・到達目標)	牛の繁殖生理を理解するとともに、2年次の家畜人工授精師免許取得に必要な基礎的事項を修得させる。						
テーマ及び概要	家畜の繁殖に関わるホルモンについて理解し、発情から妊娠、分娩までの生理機能について学ぶとともに、繁殖障害の原因と予防対策について学習する。						
使用教材							
①テキスト・教材	家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編)						
②参考文献	人工授精に関する文献・資料						
講義スケジュール	大項目			小項目			
	I 神経・内分泌						
	1 内分泌概論			1)ホルモンと作用機序 (1)ホルモンとは (2)ホルモンの作用機序			
				2)生殖器官のホルモン分泌調節 (1)視床下部-下垂体-性腺軸 (2)視床下部と下垂体の形態、機能			
	2 繁殖に関連する主なホルモン			1)視床下部 性腺刺激ホルモン放出ホルモン 2)下垂体 黄体形成ホルモン、卵胞刺激ホルモン プロラクチン、オキシトシン			
				3)卵巢 発情ホルモン、黄体ホルモン			
				4)精巢 雄性ホルモン			
				5)子宮 プロスタグランジン			
				6)胎盤 馬絨毛性性腺刺激ホルモン、 人絨毛性性腺刺激ホルモン、 性ステロイドホルモン			
				7)その他 インヒビン、アクチビン、リラキシン、 胎盤性ラクトゲン、メラトニン			
	II 雌の繁殖生理						
	1 雌牛の繁殖生理			1)発情周期とその制御・調節機構 (1)卵子形成、発生、成熟分裂、卵胞発育 (2)発情周期 (3)発情周期に伴う生殖器の変化 (4)発情行動と発情徴候			
	2 雌豚の繁殖生理			1)生殖周期 2)雌豚の繁殖生理			
	成績評価	評価:定期考査(80%)、講義の出席状況や講義態度(20%)などにより総合的に評価する。 注意事項:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	家畜育種学		教官名	角崎 智洋	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	講義形式			実務経験内容	普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	育種の原理及び能力検定、登録制度について理解させる。このことから、遺伝的改良の知識を身につけることができる。					
テーマ及び概要	家畜の育種に関する遺伝の原理を理解させ、育種目標の設定や統計遺伝学、分子遺伝学の基礎知識を学ばせ、遺伝的改良による生産力の向上を図ることができる知識、技術を習得させる。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	家畜人工授精講習会テキスト(家畜人工授精編)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 家畜の遺伝原理			(1)メンデルの法則 (2)遺伝子の本体(DNA)の構造 (3)質的形質の遺伝 (4)量的形質の遺伝		
	2 集団の遺伝			(1)集団の有効な大きさ (2)近交係数 (3)選抜の原理		
	3 家畜の選抜方法			(1)乳用牛の検定のしくみ (2)肉用牛の検定のしくみ		
	4 家畜の交配方法および特徴			(1)乳用牛の交配 (2)肉用牛の交配		
	5 家畜の登録			(1)乳用牛の登録 (2)肉用牛の登録		
	6 家畜の遺伝的評価方法			SNPによる遺伝的評価		
成績評価	評価:定期試験成績+講義の出席状況および履修態度により評価する。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度(2025年度)熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	畜産政策・環境論		教 官 名	角 崎 智 洋		
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回	
授 業 形 態	講義形式			実務経験内容	普及指導員(畜産)		
科目目標 (指導・到達目標)	畜産に関連する種々の法律や畜産施策の基本的な体系を理解することで、国施策と関連した経営展開能力を身につける。						
テーマ及び概要	法律に基づく国及び県計画と併せて、畜産振興に関連する施策、遵守すべき法令について学習する。また、畜産環境問題に関する理解を深め、家畜排泄物の管理や有効利用の方法に関する知識を身に付けることができる。						
使 用 教 材							
①テキスト・教材	畜産関係法・計画等資料						
②参考文献	農業白書、熊本県食料・農業・農村計画、酪農・肉用牛近代化計画など						
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目			
	1 畜産振興の施策			(1)政策と法律 (2)酪農及び肉用牛の生産振興 (3)各種畜産振興に係る法令 (4)行政と関係機関の役割			
	2 補助事業の概要			(1)補助事業の目的			
	3 家畜糞尿処理の現状と課題			(1)畜産経営に起因する環境問題 (2)家畜糞尿の処理及び利用状況			
	4 循環型社会へ向けた畜産環境保全			(1)有機廃棄物の発生量とリサイクル (2)堆肥の流通利用			
	5 堆肥化の基本			(1)堆肥化の目的及び堆肥化を促進する条件 (2)水分測定法 (3)堆肥の品質			
	6 堆肥化施設・機械の基本構造と特徴						
	7 ふん尿量の計算・副資材による水分調整						
	8 堆肥の利用と利用促進						
	9 温室効果ガスと畜産						
	成 績 評 価	評価: 評価: 定期試験成績＋講義の出席状況および履修態度により評価する。					
		注意事項: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和6年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	畜産経営論		教 官 名	中山統雄	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	11回
授 業 形 態	講義形式			実務経験内容	普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	畜産経営における技術と収益性の関係を理解し、計数管理の重要性を学ぶことで、経営の改善方向を自ら見出す能力を身につける。					
テーマ及び概要	具体的な酪農及び肉用牛経営の事例を用いて、各経営の特徴を理解し、経営分析の手法を学ぶ。					
使 用 教 材	農業簿記関係・畜産経営コンサル関係資料 熊本県農業経営指標					
①テキスト・教材 ②参考文献						
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 畜産経営の特徴			(1)経費、収益の内訳 (2)酪農経営の特徴 (3)繁殖経営の特徴 (4)肥育経営の特徴		
	2 経営分析			(1)経営分析の基礎 (2)経営分析のポイント (3)経営分析演習		
	3 各種畜産経営の事例			(1)酪農経営の優良事例 (2)繁殖経営の優良事例 (3)肥育経営の優良事例		
成 績 評 価	評価:定期考査(80%)＋出席状況や講義態度(20%)などにより総合的に評価する。 (100点満点) 注意事項:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					